

ロボット戦略 世界分散ファンド

愛称:資産の番人

第14期運用報告書（全体版）


（決算日 2023年8月22日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2016年9月30日から2026年8月24日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ・日本円クラス（ヘッジ付）	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先物取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（2月と8月の22日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ロボット戦略 世界分散ファンド」は、2023年8月22日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**
〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
 （受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	マン・ AHL ・アルファ・コア・オルタナティブ・日本円クラス(ヘッジ付)組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
10期 (2021年8月23日)	10,995	100	1.7	—	—	95.7	11,133
11期 (2022年2月22日)	9,946	0	△9.5	—	—	95.2	9,180
12期 (2022年8月22日)	10,453	100	6.1	—	—	98.0	8,651
13期 (2023年2月22日)	10,600	100	2.4	—	—	96.4	7,771
14期 (2023年8月22日)	10,040	100	△4.3	—	—	98.2	7,329

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	マン・ AHL ・アルファ・コア・オルタナティブ・日本円クラス(ヘッジ付)組入比率
		騰落率			
期首 (前期末) 2023年2月22日	円 10,600	% —	% —	% —	% 96.4
2月末	10,605	0.0	—	—	95.9
3月末	10,086	△4.8	—	—	94.7
4月末	10,175	△4.0	—	—	94.3
5月末	10,575	△0.2	—	—	95.2
6月末	10,650	0.5	—	—	95.8
7月末	10,179	△4.0	—	—	96.9
期末 2023年8月22日	10,140	△4.3	—	—	98.2

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

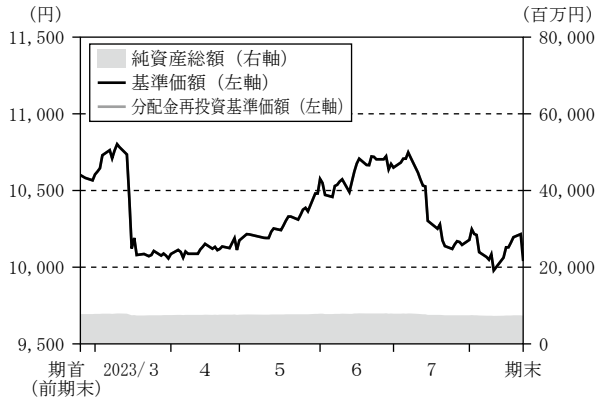
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第14期首：10,600円
 第14期末：10,040円 (既払分配金100円)
 騰落率：△4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2023年2月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス (ヘッジ付)」において、株式セクターはプラス寄与しましたが、債券・金利、通貨とコモディティ・セクターがマイナス寄与となったことから、基準価額 (分配金再投資ベース) は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス (ヘッジ付)	△3.9%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0

■ 投資環境

【株式市場】

期初は、米利上げ長期化観測が重しとなりましたが、米経済指標の底堅さ、日欧の景気回復期待などから株価は底堅く推移しました。2023年3月前半、米国の中堅銀行破綻を契機とする金融不安が欧州に広がった直後に株価が下落しましたが、3月後半から4月にかけては、金融当局の素早い対応やスイス金融最大手UBSによるクレディ・スイス買収合意などを受け、金融不安が後退し株価は上昇に転じ、先進国株式は堅調推移となりました。一方、新興国株式は中国株安などが重しとなり徐々に軟化しました。5月は、米国債務上限問題や利上げ観測再燃から、米欧株式は上値の重い展開が続く一方、景気回復期待やPBR (株価純資産倍率) 改善期待を背景に日本株は堅調推移となりました。6月初めに、米債務上限問題が決着後、米経済指標からインフレ鈍化と景気の底堅さが確認されたことから、利上げ停止観測が強まり株価堅調となりました。7月も、主要各国でインフレ鈍化が確認され、利上げ長期化観測が後退し、株価上昇基調が続きました。その後、期末にかけては、米国の債務格付や一部銀行の格下げが発表され、米中期国債発行増による需給悪化懸念などから金利が上昇するなか、株価は下落しました。

【債券市場】

期初は、欧米は高インフレを背景に利上げ継続観測が強まるなか、幅広く金利は上昇しました。一方、日本では、金融緩和政策維持観測から金利横ばい推移が続きました。2023年3月には、米欧金融不安が台頭し、リスク回避姿勢が強まるなか、米国の年内利下げ観測が急速に高まり、米中心に金利低下基調となりました。4月は、利上げ終了観測が高まる米国は金利横ばい、利上げ継続観測が根強い欧州などは金利が上昇しました。5月は、物価指標からインフレ鈍化が確認できず利上げ休止観測が後退した米国、利上げ継続観測が根強い英国などで金利上昇、一方、ドイツの景気減速懸念に伴い欧州金利は低下と各国まちまちな動きとなりました。6月には、豪州は予想外の2ヵ月連続の利上げ、米国は年内追加利上げを示唆、英国は利上げ幅が予想を上回るなど、先進各国の利上げ継続を受けて、欧米金利は上昇しました。7月に入ると、先進各国の利上げ終了をにらみ金利上昇一服の動きも見られましたが、期末にかけて米債務格付や一部米銀の格下げ発表、米中期国債発行増による需給悪化懸念などを受け、幅広く金利が上昇する展開となりました。

【為替市場】

期初は、米利上げ長期化観測から米ドル全面高となりました。2023年3月に入り、米中堅銀行の破綻を契機とする金融不安を受けリスク回避の動きが強まり、米利下げ観測も高まったことから幅広い通貨に対して米ドル安が進みました。4月は、米経済指標は強弱入り混じり、米金融政策を巡る観測が交錯するなか、米ドルは方向感に乏しい展開、円は金融緩和早期修正に慎重との見方から軟調、ユーロは欧州景気楽観論や金利先高観から堅調となりました。5月には、米物価指標からインフレ鈍化の兆候が確認できず、年内利下げ期待が後退したことから米ドルが反騰しました。しかし、6月から7月上旬にかけては、幅広く景気回復やインフレ鈍化の兆しが見られるなか、利上げ継続観測の根強いユーロやポンドが堅調、円と米ドルが軟調と、ほぼ各国金融政策に沿った動きとなりました。7月中旬以降は、米ドル高ユーロ安、米ドル安円高となるなどまだら模様の動きでしたが、その後、期末にかけては米国債務格付や一部米銀の格下げが発表、米中期国債発行増による需給悪化懸念などから金利が上昇するなか、米ドル全面高の展開となりました。

【コモディティ市場】

原油価格は、期初は、中国景気回復期待やロシアの減産や輸出削減の公表などを受け上昇しました。その後、米利上げ長期化観測や米欧金融不安を受け下落しましたが、当局の素早い対応により金融不安は後退し、その後、イラク・トルコ間の石油パイプライン停止やOPEC（石油輸出国機構）プラス追加減産などを受け、2023年4月半ばにかけて反騰しました。5月から6月にかけては、中国景気や金融引締め継続に伴う欧米景気の減速懸念が重しとなり下落しました。7月以降は、産油国の供給削減、中国景気支援策への期待、米利上げ休止観測から景気悪化懸念が後退し、反転上昇しました。ベース金属価格は、期初から6月にかけて、中国景気、欧米の金融政策を巡る観測に応じて上下動しながらも、上値を切り下げる展開が続きました。7月以降、主要国の堅調な経済指標やインフレ鈍化が確認され価格は上昇に転じましたが、期末にかけて米国での一連の格下げ、それに続く金利上昇を受け、価格は再度下落しました。一方、貴金属価格は、期初から5月上旬にかけて、インフレ懸念が根強く残るなか、米ドル安が進んだこともあり上昇しましたが、5月中旬から6月上旬には反落し、その後も方向感のない動きとなりました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.14\%$ から期末は $\Delta 0.13\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、100円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を投資対象とし、システムチック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行います。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は2023年7月の金融政策決定会合において長短金利操作の運用の柔軟化を決定しましたが、依然として金融緩和を継続する姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 2 月 23 日から 2023年 8 月 22 日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2023/ 2 / 23 ~ 2023/ 8 / 22		
	金額	比率	
平均基準価額	10, 378円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	52円 (22) (29) (2)	0. 502% (0. 207) (0. 278) (0. 016)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0. 009 (0. 009)	(b) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	53	0. 511	

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

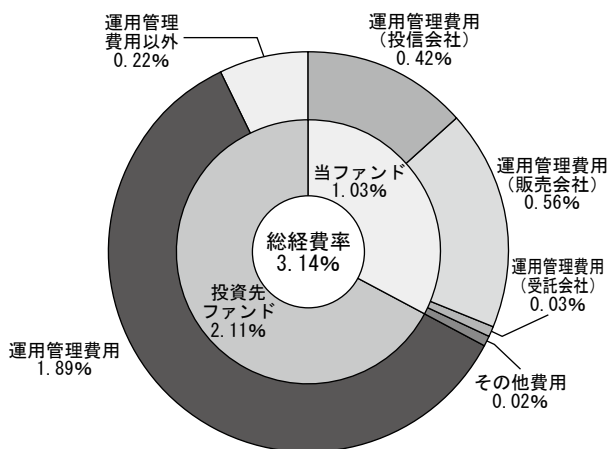
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券 (親投資信託を除く。) が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額 (原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。) を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額 (1 口当たり) を乗じた数で除した総経費率 (年率) は、3. 14% です。



総経費率 (①+②+③)	3.14%
①当ファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22%

(注) ①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券 (親投資信託を除く) です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ②の費用は、基本報酬と成功報酬で構成されています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2023年2月23日から2023年8月22日まで)

(1) 投資信託証券

当期における売買はありません。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2023年2月23日から2023年8月22日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年8月22日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 623,737	口 623,737	千円 7,200,365	% 98.2

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	額
T&Dマネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円	49

(注) T&Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は199千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2023年8月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー日本円クラス(ヘッジ付)	7,200,365	96.5
T&Dマネーアカウントマザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	259,184	3.5
投資信託財産総額	7,459,598	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,459,598,419円
コール・ローン等	259,183,393
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー日本円クラス(ヘッジ付)(評価額)	7,200,365,130
T&Dマネーアカウントマザーファンド(評価額)	49,896
(B) 負 債	130,104,658
未払収益分配金	72,999,828
未払解約金	17,985,283
未払信託報酬	38,450,356
未払利息	545
その他未払費用	668,646
(C) 純資産総額(A-B)	7,329,493,761
元 本	7,299,982,844
次期繰越損益金	29,510,917
(D) 受益権総口数	7,299,982,844口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,040円

- (注) 期首元本額 7,331,909,006円
 期中追加設定元本額 569,857,843円
 期中一部解約元本額 601,784,005円
 (注) 1口当たり純資産額は1.0040円です。

損益の状況

当期 自2023年2月23日 至2023年8月22日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 115,659円
受 取 利 息	424
支 払 利 息	△ 116,083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△282,558,360
売 買 益	10,187,828
売 買 損	△292,746,188
(C) 信 託 報 酬 等	△ 39,119,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△321,793,021
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 69,279,604
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	493,583,370
(配 当 等 相 当 額)	(558,542,830)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 64,959,460)
(G) 合 計(D+E+F)	102,510,745
(H) 収 益 分 配 金	△ 72,999,828
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	29,510,917
追 加 信 託 差 損 益 金	493,583,370
(配 当 等 相 当 額)	(558,542,830)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 64,959,460)
分 配 準 備 積 立 金	10,491,036
繰 越 損 益 金	△474,563,489

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期末末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(558,542,830円)および分配準備積立金(83,490,864円)より、分配対象収益は642,033,694円(1万口当たり879円)であり、うち72,999,828円(1万口当たり100円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2023年2月23日 ～2023年8月22日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.986
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	779

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & Dマネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & Dマネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

<ご参考>

組入投資信託証券の内容

マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ルクセンブルク籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
投資態度	<ul style="list-style-type: none">・先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロングポジションまたはショートポジションを構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。・先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムチック運用により、市場の上昇および下落局面においても収益を追求します。・投資運用会社の判断によりレバレッジを活用します。・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 流動性にかける資産の組入れは10%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	ウェイトン マネジメントカンパニー（L u x）S . A
投資運用会社	AHL パートナーズ L L P

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。当該記載は監査報告書の入手可能な直近の決算日現在のものです。

※「マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する円建外国投資信託証券です。

マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ

(1) 純資産変動計算書

計算期間：2022年1月1日から2022年12月31日

	(単位：米ドル)
期首の純資産額	188,257,298.77
収益	
債券利息	461,617.75
銀行利息	898,134.95
収益合計	1,359,752.70
費用	
運用報酬	1,616,713.07
管理会社費用	34,871.01
成功報酬	1,547,456.91
受託銀行手数料	63,677.21
登録、事務代行、名義書換事務費用	164,841.11
監査費用、印刷および発行費用	50,539.95
年次税	24,861.93
銀行利息	39,384.70
取引手数料	79,119.79
その他費用	96,262.99
費用合計	3,717,728.67
投資に係る純損益	(2,357,975.97)
有価証券売却に係る実現純損益	(2,944.88)
外国為替先渡取引に係る実現純損益	(13,957,928.91)
先物取引に係る実現純損益	14,252,341.68
スワップ取引に係る実現純損益	(80,961.67)
外国為替取引に係る実現純損益	(585,614.28)
実現純損益	(375,108.06)
未実現損益の変動：	
－有価証券投資	767,356.90
－外国為替先渡取引	397,042.68
－先物取引	542,850.42
－スワップ取引	(4,385.60)
運用の結果による純資産の増減額	(1,030,219.63)
資本変動額	
追加設定金額	61,000,664.41
一部解約金額	(105,784,164.65)
当期末の純資産額	142,443,578.90

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」における「日本円クラス(ヘッジ付)」の決算期末の持分比率は47.2%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2022年12月31日

(A) 債券

銘柄名	数量	通貨	簿価	評価額
			米ドル	米ドル
United States Treasury Bill 0.00% 12/Jan/2023	10,000,000	USD	9,861,331.94	9,990,078.00
United States Treasury Bill 0.00% 26/Jan/2023	35,000,000	USD	34,592,759.45	34,910,893.50
United States Treasury Bill 0.00% 9/Feb/2023	5,000,000	USD	4,927,440.28	4,979,397.50
United States Treasury Bill 0.00% 16/Feb/2023	15,000,000	USD	14,776,145.83	14,923,009.50
United States Treasury Bill 0.00% 16/Mar/2023	1,000,000	USD	983,450.97	991,393.80
United States Treasury Bill 0.00% 13/Apr/2023	15,000,000	USD	14,690,468.75	14,811,906.00
合計			79,831,597.22	80,606,678.30

(B) 為替先渡取引（上位10銘柄）

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
MXN	USD	41,601,815.14	831,254.06
EUR	JPY	26,177,367.96	(930,769.95)
EUR	USD	22,951,553.73	312,343.31
USD	CNH	22,300,386.81	(745,767.22)
EUR	GBP	22,187,609.62	308,994.35
USD	CHF	21,226,618.92	(1,441,277.91)
JPY	EUR	21,217,222.53	519,796.34
CNH	USD	21,033,240.83	220,488.60
CAD	USD	18,484,659.53	(20,016.41)
EUR	SEK	17,995,180.32	278,838.17

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(C) 先物取引（上位10銘柄）

買い			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
SPI 200 Index Future	AUD	米ドル 4,741,624.85	米ドル (117,277.37)
FTSE 100 Index Future	GBP	2,784,064.94	(2,112.51)
SET50 Index Future	THB	2,105,665.13	43,348.19
MSCI Taiwan Index Future	TWD	1,655,626.88	4,112.55
Topix Index Future	JPY	1,290,197.45	(41,088.94)
FTSE MIB Future	EUR	1,265,117.59	(46,644.89)
FTSE/JSE Top40 Index Future	ZAR	1,233,812.35	(42,721.31)
CAC40 Index Future	EUR	1,104,902.09	(38,835.10)
Euro Stoxx 50 Future	EUR	929,094.08	(41,900.94)
FTSE Taiwan Index Future	USD	894,060.00	(4,729.62)
売り			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
US SOFR Index Future	USD	米ドル 20,839,875.00	米ドル 73,850.00
3 Month Euribor Index Future	EUR	20,124,937.57	54,480.82
Euro-BTP Future	EUR	14,658,168.51	212,865.86
Bank Acceptance Future	CAD	9,671,950.75	31,818.70
Australian Treasury Bond Future	AUD	9,257,026.38	119,791.53
10 Year US Treasury Note Future	USD	7,411,562.50	38,234.42
10 Year Japanese Bond Future	JPY	7,389,674.36	33,025.69
Euro-OAT Future	EUR	6,812,573.91	255,631.69
Euro-Bund Future	EUR	6,264,781.41	314,222.65
Long Gilt Future	GBP	5,193,296.48	198,342.41

(D) トータル・リターン・スワップ

銘柄名	通貨	数量	評価損益
Bloomberg Commodity ex-Agriculture and Livestock Capped Index	USD	1,185,952.80	米ドル (4,385.60)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第10期（決算日 2022年9月12日）
（計算期間 2021年9月11日から2022年9月12日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2022年9月12日に第10期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
6期（2018年9月10日）	10,006	△0.1	—	—	百万円 2
7期（2019年9月10日）	10,000	△0.1	—	—	2
8期（2020年9月10日）	9,995	△0.1	—	—	0.19858
9期（2021年9月10日）	9,995	0.0	—	—	0.099834
10期（2022年9月12日）	9,995	0.0	—	—	0.099834

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
期首 (前期末) 2021年 9 月10日	円	%	%	%
	9,995	—	—	—
9 月末	9,995	0.0	—	—
10 月末	9,995	0.0	—	—
11 月末	9,995	0.0	—	—
12 月末	9,995	0.0	—	—
2022年 1 月末	9,995	0.0	—	—
2 月末	9,995	0.0	—	—
3 月末	9,995	0.0	—	—
4 月末	9,995	0.0	—	—
5 月末	9,995	0.0	—	—
6 月末	9,995	0.0	—	—
7 月末	9,995	0.0	—	—
8 月末	9,995	0.0	—	—
期 末 2022年 9 月12日	9,995	0.0	—	—

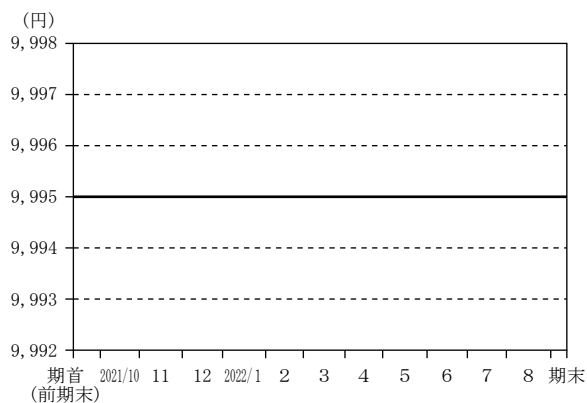
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円からスタートし、期末も9,995円となりました。コールローン運用対象としており、基準価額の変動はありませんでした。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.12%から期末も△0.12%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2021年9月11日から2022年9月12日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2021年9月11日から2022年9月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年9月11日から2022年9月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年9月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年9月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 99	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	99	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年9月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	99,834円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,834
(B) 純 資 産 総 額 (A)	99,834
元 本	99,887
次 期 繰 越 損 益 金	△ 53
(C) 受 益 権 総 口 数	99,887口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B / C)	9,995円

(注) 期首元本額 99,887円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 0円

(注) 元本の欠損
当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は53円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9995円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
ロボット戦略II 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2021年9月11日 至2022年9月12日

項 目	当 期
(A) 前 期 繰 越 損 益 金	△53円
(B) 合 計 (A)	△53
次 期 繰 越 損 益 金 (B)	△53